レッスン：32“Ｍ”

テーマ：ピラミッド

MAC32/DOC/PYR8.KE4/MEN

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット・光・火の子供たちよ、

私たちは常に主、絶対、神の聖性によって抱かれています。

　以前のレッスンでは様々なタイプのピラミッドについて述べました。生命の木の上にあるピラミッドもあれば、そうでないものもあります。

私たちは四面ピラミッド、五面ピラミッド、六面ピラミッド、七面ピラミッド、八面ピラミッドについて述べました。さらには、三面ピラミッド、そして一面ピラミッド…それは円錐形と呼ばれていますが…についても話しました。

人間が進化、成長するためにはこれら様々なタイプのピラミッドとのワークにかなりの時間を費やさなければならない、ということがかなり明らかになりつつあります。どのような順序で人間はこれら様々なタイプのピラミッドにアプローチしていくのでしょうか？

既に四面ピラミッドのなかのワークは始まりました…四面ピラミッドは自分自身の無知の中にある人間を示しています。既に、四面ピラミッドのなかに立ついくつかのエクササイズが与えられています。

　どのような順序で私たちはピラミッドのワークをするのでしょうか？四面ピラミッドに続いて、五面ピラミッドのワークをすることになります。五面ピラミッドは、正しい感覚（それはいわゆる五つの超感覚と呼ばれている）で人間が自分自身を表現できるようにすることを目的としています。その次に、三面ピラミッドのワークをします。三面ピラミッドは、実存の諸世界における人間のヒポスタシス（＊状態）の三つ組的な成長を意味します。さらには一面ピラミッドへと続き、一面ピラミッドは実際、時間・空間の意味内における人間の表現と意識の拡大の結果として創造されるピラミッドです。それは回転するピラミッドであり、限界がなく、特別なフォーカスのない意識の現れによって創造されるピラミッドです。過去において人間は自分の身体の旋回によってこのピラミッドを作ろうと試みていました。しかし勿論、現在の私たちにはそれは必要ありません。なぜなら、このポイントに到達する頃には、パーソナリティーはすでにインナーセルフの特質を多く表現し、また現在のパーソナリティーの素質的能力のサイクルによって提供される能力の多くを表現するようになるからです。次にアプローチするピラミッドは六面ピラミッドであり、六面ピラミッドは自己実現に到達し、生それ自体(Life Itself)の多くの特質を表現している状態にある人間を示しています。

それでは四面ピラミッドに戻りますが、既に述べたように私たちは四面ピラミッドの真ん中に立って行ういくつかのエクササイズを行いました。四面ピラミッドの底辺の真ん中に立って、地面に立っている、としばしば述べています。実際に私たちは地面の上に立っているのでしょうか？

そうです、無知のなかにある間は、人間は四面ピラミッドの底辺の真ん中に立っていますが、しかし、その底辺は地面の下へと続いています。なぜなら、四面ピラミッドの投射は二方向になっているからです。私たちには地面の上に立っているピラミッドが見えますが、実際には四つのサイドは実質的に地面の中へと投射されていきピラミッドの真の底辺のところで終わっているのです。四つのサイド、面は部屋あるいは墓を形成します。その人の気づきのレベルに応じて、人間はピラミッドの中の異なったレベルにいるので、その人がいるレベルに気づかせることが重要です。

探求者である人間は最初に、自分の無知に気づくことができるよう助けが必要となります。

それによってその人は地面のなか、地球のなかのそのレベルから上に昇り始めることができ、地上に立つことができるようになるのです。

それゆえに、最初の真のワークは、このピラミッドの真ん中の地面の上に立つことができるよう、気づきに働きかけることなのです。

このことはある程度世界の様々な地域で知られていました。それゆえ、世界の様々な場所でいろいろなピラミッドが発見されているのです。ピラミッド、特にエジプトのそれは最終的な高みに到達できるよう、海のレベルと死海のレベルとの関係において高度の数学的正確性をもって築かれています。様々なレベルと複数の部屋に通じる複雑な道、通路があります。過去の文明は、ピラミッドの目的に関して経験に基づいた知識を持っていたとみなすことができるでしょうか？それとも、彼ら自身の経験あるいはサイコノエティカルな達成を伴わずに、内側から放射(emanation)された何かだったのでしょうか？残念なことにそうだったのです。それらは放射であり、そのレベルの真のサイコノエティカルな達成ではなかったのです。

Page2

私たちも“ピラミッド”のアイディアに対して、私たちの祖先と同様のアプローチをするのでしょうか？過去に人間がアプローチしたのと同じやり方で、私たちはそれらの様々な道、様々なレベルにアプローチするのでしょうか？まったく違います。

　無知にある間は、ピラミッドは人間の墓であるとみなすことができます。死という現象に伴って肉体を後にするとき、私たちはこの墓に埋められるわけではありません；現在のパーソナリティーとして私たちは既にこの墓に埋められており、無知の結果としてこのピラミッドによって与えられている境界、限界から自由になろうとしているのです。しかし、前回のレッスンで述べたように、同時に私たちは六面ピラミッドまでの全てのピラミッドの中におり、現在のパーソナリティーのそれら全てのピラミッドのなかにいるのです。七面ピラミッドは現在のパーソナリティーのピラミッドではなく、魂のセルフ・エピグノシスとしての生それ自体のためのものです。

さらに、八面ピラミッドは魂のセルフ・エピグノシスのためでさえありません。前に述べたように、創造の諸世界のなかのいかなる現れもそのピラミッドにアプローチすることはできないのです。そのピラミッドは最も広大なヘブン（Widest of Heavens）、PanAyia、処女マリアである絶対存在の本質に属するもので、回転ピラミッドなのです；それは私たち、あるいは創造の諸世界における誰も、いかなる現れでさえアプローチできないものです。

それでは、四面ピラミッドの中でワークを始めるには何が必要となるでしょうか？

私たちは自分の無知をどのようにして認識するのでしょうか？

なぜなら、ピラミッドの地面の真ん中に立つことができるためには、私たちを無知のなかに引き止めているものを認識し始める必要があるからです。

あなた方のなかには何年もワークを続け、探求し、知識を得て、エクササイズを行い、助けを得ている人もいます；それは結局何を達成するためでしょうか？目的は、特定のサイコノエティカルなレベルへの上昇を達成するためにワークする十分な刺激を与えることです。

　どのレベルを私たちは目指しているのでしょうか？ピラミッドの地面に立つことができるレベルに到達することです。さて、このコースを取っている人あるいはクラスに出席している人がそのレベルを達成しているかどうか、は別問題です。なぜなら、探求者がワークのために努力することが大きなポイントだからです。しかし、探求者の本当のワークはこのポジションから始まるのです。探求者全員が地面に立っているか、あるいはまだ横たわって地面に向いている人がいるかどうか、は個人の問題です。全員が地面に立っているものとみなして、前に進みます。あなた方を助けるために、このピラミッドの中で行う他の多くのエクササイズが必要となります。しかし、それでも既に多くのエクササイズが与えられています。過去には知られていなかったのですが、四面ピラミッドの中でどのようにしてワークを行うかという鍵は、既にあなた方に与えられています。

**質問と説明：**

**質問**：四面ピラミッドのワークの後に五芒星のワークをする際、それが意識の拡大と結びついているので一面ピラミッドのワークを同時にしないのでしょうか？それとも、それらは明確に分けられているのでしょうか？

**Ｋ**：人間がいわゆる超意識のセルフ・エピグノシスの様々なレベルを表現し始めるようになると、確かに人間はそのタイプのピラミッド、つまり一面ピラミッドを表現し始めますが、それ以前においては表現することはありません。超意識のセルフ・エピグノシスを表現する結果として、人間はインナーセルフの特質から多くを表現します。しかし、以前のレッスンで述べたように、超意識のセルフ・エピグノシスは様々な異なったレベルで表現されます。それは火の洗礼の始まりであり、それは始まりますが勿論すぐさま終了するわけではありません。この洗礼には長い年月がかかり、時には数多くの転生をかけて行われることもあります。それはそのパーソナリティーの努力次第です。火の洗礼に続いて、スピリットの洗礼があり、その時に今や自己実現に到達した魂のセルフ・エピグノシスがテオーシス（＊成長の最終段階。神との合一）においてスピリット・セルフに戻ります。それは二度目の磔（はりつけ）、つまり火の洗礼が完了した後に始まります。

**質問**：人間が五芒星の中にいて四面ピラミッドの中にいるとき、それらは両方とも下向きなのですか？

Ｋ：下向きの五芒星は五感を使って表現している人間を示しており、私たちは五芒星を元の上向きの位置に戻す必要があります。それはつまり、五つの超感覚を表現するということですが、しかしいつそのようになるでしょうか？

それはパーソナリティーが四つのエレメントをかなりの程度マスターし、不定形な諸体の再形成のプロセスが始まったときです。実際、この段階においては、現在のパーソナリティーは五つの超感覚を使用していますが、意識的に使っているのではありません；実際、サイコノエティカル体が他の諸世界でそれ自身を表現する時のみ、五つの超感覚を使っています。しかし、現在のパーソナリティーが物質界でそれ自身を表現するときには他の諸体は五つの超感覚を使いません。なぜなら、気づきのフィルターがそれを許さないからです。ですから、確かに、五芒星は下向きで、人間は地上にフォーカスし、地および自分自身のイメージに魅惑されています。

Page3

このレッスンの終わりに続くエクササイズ…正方形の部屋でのエクササイズ…に関する説明をします：

似たようなエクササイズがすでにピラミッドのなかで与えられている、という事実に注意を向けてください。四つの垂直の壁のある正方形の部屋において、それらの壁から四つの三角形の輝きが正方形の底辺の中心に向けて放射されています。その結果、四つの三角形全てが、底辺の中心において共通のポイントを共有しています。それは正方形の真ん中に立っているパーソナリティーの背骨に一致します。それら四つの三角形の高さは、頭頂から腕一本くらいのところです。それはまた四面ピラミッドを形づくることができます。

このエクササイズを行う時、私たちはピラミッドのなかではなく正方形の部屋にいます。これらは、ワークが後にピラミッドのなかに導かれるようなエクササイズなのです。そうです、私たちは既にピラミッドのなかでいくつかのエクササイズをしました。そして、どのようにして私たちが正しい道、つまり反対側を向くかということです。なぜなら、私たちは180度反対の方向を向いているので、向いている反対側が啓発への正しい道なのです。過去においてこれは困難なことでした。なぜなら、人間は自分が実際にどこで見ているかに気づいていなかったからです。

　自らの気づきを上昇させるために必要なワークをする前に諸センターを活性化させると、全てのエネルギーは上に向かって上昇する代わりに、地に向かって下に行きます。なぜなら、私たちが反対方向を向いているからです。五芒星は下を向いています。そうです、クンダリーニからエネルギーを上昇させようとする数多くのエクササイズは、反対の結果を招きます；五芒星が下向きになっているがゆえに、エネルギーが上に向かって上昇する代わりに下に向かっていくのです。しかし、そのパーソナリティーはそのことに気づいていません。そうです、不幸なことに、人間が無知にある時にはこの生命の木は逆になっているのです。そのようなパーソナリティーは多くのイリュージン、幻影を表現しています。彼らは自分がこれ、あれを体験していると思っていますが、しかし実際には自分の幻影を体験しているにすぎません。創造的エーテル、つまりクンダリーニのセンターであるその聖なるセンターに、人間は決して触れるべきではないのです。そのセンターは聖霊の監督下にあり、運動エーテル・感覚エーテル・刻印エーテルという他の三つのエーテルをマスターした結果として、最後に現在のパーソナリティーの手に与えられるエーテルなのです。創造的エーテルは自動的に加えられます；つまり、現在のパーソナリティーが表現するものは何であれ全て他の人々および本人にとって有益なものとなる、ということです。

　さて今、全サイドは、あなたの頭に腕の長さを足した高さと等しくはありませんが（＊この講義が行われている部屋のこと）、あなたが正方形の底辺に立っていると考えてください。それぞれの壁から三角形の輝きが放射されているのが見え、それら各色の輝きによってその空間が満たされています。

各三角形は輝いていて、その高さはあなたの頭の少し上ぐらいで、それら四つの三角形が四角い底辺の中心で一つになっています。それゆえ、あなたが向きを変えると別の色の光があなたの胸およびあなたの前面全体に浸透していきます。ピラミッドのなかでのこのワーク、およびあなたのワークに慣れ親しんだときに、本当の体験が始まるでしょう；それゆえ、何であれあなたの体験はあなた自身の体験であり、他の人のものと比較すべきではありません。なぜなら、その人自身の気づきのフィルターによって各人の体験も異なるからです。

右に面しているとき、あなたはミカエルに向かっています；ミカエルがあなたの前にいてあなたを招き寄せ、あなたを抱いています；ラファエルおよびホワイトブルーの輝きのガブリエルについても同じことが起こります。

過去において、人間が自分の源、進化の道について多くのイリュージョン、幻想を抱いてきたもう一つの理由は、ワークの仕方、ワークに向かう方法、反対側を向いて現在のパーソナリティーがより良い自己を表現する助けとなる別の梯子を上ること、についての鍵を知らなかったからです。エゴの様々な局面を殺す梯子、様々なレベルの意識を表現する梯子、それらは14の段から成るヤコブの梯子です。それらの段を昇ることによって、パーソナリティーは私たちの兄弟であるアークエンジェルの仕事に慣れ親しむようになり、勿論それによってあなたは自分のなかのアークエンジェル的ヒポスタシス（＊状態）を表現するようになるのです。

Page4

私たちの兄弟であるアークエンジェルたちはバランスを提供するために、健康を提供するために働いています。しかし、私たちはそのアークエンジェルの仕事を破壊するべく頑張っているというのが実情です。そのために私たちはいくつかのレッスンのなかで、徐々に徐々に私たちは聖霊的現れに協力し始める必要がある、と述べたのです。全てが私たちのために整っていることを期待しようとしないで、彼らの仕事を助ける必要があるのです。あなた方が与えるワーク、ヒーリングのワーク、同胞の人間に対する愛のワークをする時、あなたは何になるのでしょうか？そうです、兄弟であるアークエンジェルの協力者となり、あなたもその一人となるのです；でも、あなたは何を提供するのでしょうか？

神の愛です。

実際には、働いているのは神であり、

仕事をしているのはあなたではなく神なのです。

それでは神はどこにいるのでしょうか？あらゆるところに遍在しています。

しかし、この特定のケースにおいて、働いているのはあなたの内側における神であり、いまだ多くの弱点をもっている現在のパーソナリティー（なぜなら、転生のサイクルにある間は誰も完全ではありえないからです）としてのあなたではありません。

　もし人がこのプロセスを経なければ、その人は自分の源およびLifeの現象としての他の全ての王国（植物界や動物界など）の源に関して混乱した状態に留まるでしょう。

六芒星は創造界へのロゴスの下降（それは下向きの三角形）を象徴しています。なぜなら、今や二つの三角形があるからであり、創造界へのロゴスの下降、そしてもう一つ上向きの三角形（底辺に十字架がある）は人間の上昇を意味しているからです。十字が象徴する四つのエレメントをマスターし（その人は四つのエレメントをマスターしたのでもはやそれを必要としない）、また現在のパーソナリティーの諸体をマスターすることによって、インナーセルフの特質を表現するレベルへ人間が上昇することを示しています。その人間は魂のセルフ・エピグノシスとして存在の諸世界において自分を表現し、今や自己実現を達成しています。それはいわゆるキリスト意識あるいは二度目の到来（再臨）と呼ばれています。

**質問**：火の洗礼に続いて、スピリットの洗礼があります。それは上向きの三角形は引き続き上昇することを意味するのですか？

**Ｋ**：そうです、

最初および二度目の磔の間には存在の諸世界、魂の諸世界があります。

二度目の磔からスピリットの洗礼が始まります。

最初の磔から上のレベルについては、いまだ転生のサイクルにある間は、いかなる人間も経験的知識としてそれらを話すことは不可能です。経験的知識が得られるのは、最初の磔より下のレベルについてです。

最初の磔に到達するということは、

あなたが現在のパーソナリティーの諸体をマスターしたということです。それはあなたがLifeそれ自体の特質を数多く表現していることを意味します。

そして実存の諸世界と存在の諸世界を分けている線を渡ることは許されていますが、あなたはそうしません；代わりにあなたは転生のサイクルの中、実存のサイクルの中に留まり、同胞の人間たちもまたそのポイントに到達できるように人々を助けるのです。そこに到達する最初の人間は、そこを超えて渡る最後の人となることでしょう。

私たちは主、絶対、神の聖性に抱かれています。

EREVNA/MESERIES/MAC32M/DOC/PYR7/KE4+EXERCISE/SERIES PYR7/KE$/PYR/4/

エクササイズ(EXERCISE/SERIES/PYR/4)

　静かに座り、心を騒がせているもの全てを解き放ちます。純白な自分をイメージし、自分の境界を感じます。アガピ…アガピ…アガピと繰り返しながら、徐々に静寂…平安…至福のなかへと入っていきます。あなたは純白であり、それぞれ四つの異なった色の光を放っている四つの壁のある部屋の真ん中に立っています。

あなたは純白の色に面しています…右に90度回転し、今あなたは赤い色に面しています…自分自身を開いて、この輝きが提供するものを受け入れます。あなたの右にはホワイトブルーがあり、左には純白があり、あなたの後ろにはウルトラ・バイオレットがあります。それでは再び90度右に回転し、今あなたはホワイトブルーに面し、右にはウルトラ・バイオレット、左には赤、そして後ろには純白があります…自分自身を開いて自由にし、この輝きから得られるもの全てを受け入れます。再び90度右に回転し、あなたはウルトラ・バイオレットに面しており、右には純白、左にはホワイトブルーがあり、後ろには赤が輝いています…そして再び自分自身を開いて自由にして、その輝きから得られるもの全てを受け入れます。再び右に90度回転し、元の位置に戻ってきて純白に面しています。あなたはこの正方形の部屋の真ん中に立っています。その部屋の四面の輝いている壁が四つの三角形を形成し、その先端が一点で出会っており、そのポイントはあなたの肉体の背骨と同じ位置にあります。

次に、三つの太陽を活性化します…太陽神経叢からはホワイトブルーの光が全方向に輝いており…エーテルのハートからはホワイトピンクの光が全方向に輝いています…そして、あなたの頭のセンターからは金色の光があらゆる方向に輝いています。四つの光の壁の中のこの特別なスペースにおいて、三つの光がそれぞれあらゆる方向に光を放っています。今、この特別なスペースのなかには七つの異なった光があり、それらの色は混じりあうことなしに七つの輝きを放っています。異なった波動の輝き…七つの異なった波動を放っています。金色、ホワイトピンク、ホワイトブルー…太陽神経叢のホワイトブルーとあなたの背後の壁のホワイトブルーはその波動が異なっています。あなたの前からは純白が、右からは赤が、左からはウルトラ・バイオレットが…波動の異なる七つの色…七つの異なった色が調和しています…それでは現在のパーソナリティーの健康を祈り…平安と静穏を祈り…正しい考え、思考を祈ります。アガピ…アガピ…アガピと、アガピの言葉の繰り返しに戻ります。

私たちは常に主、絶対、神の聖性に抱かれています。

EREVNA/32M/DOC/PYR 7.KE4